

町内にも旧石器人が 住んでいた!

8月から発掘調査をおこなっている尾付野山遺跡から、約1万5千年ほど前の後期旧石器時代のものと思われる細石刃(マイクロブレード)と呼ばれる槍の刃が多数出土しました。

後期旧石器時代は、ウルム氷河期末期の約3万5千年前から1万年ほど前を指し、縄文時代より前のため稲作や土器はまだなく、人々は狩猟を生活の糧として、獲物を求めて季節ごとに移動する遊動生活をおこなっていたと考えられています。

社会教育課の村原政樹主事は、「細石刃は、古代の槍の刃で破損したとき取り替えることができます。この槍でイノシシなどの獣を捕っていたのでは、細石刃の出土により、この土地も昔から人々が住んでいたことが分かります」と話していました。

尾付野山遺跡は調査がおこなわれた後、高規格道路が建設される予定となっています。



▲尾付野山遺跡より出土した細石刃



▲槍の復元図

ナス? ピーマン?

求名広橋の宇治野マリ子さんの家庭菜園で、ナスの株にカラーピーマンのようなものが実をつけました。

宇治野さんの話によると、8月中旬頃数本育てていたナスの苗のうち2本で、茎からカラーピーマンかトマトのような赤い実が15個ほどなったとのことで、茎や葉っぱはナスで、同じ茎から実はナスとカラーピーマンもどきになっています。

役場経済課の坂元隆志技師は、「徳之島でも同じようなことがあったという記事が新聞に掲載されていたので、たぶん種の交配の段階で変異が生じたのだと思います。はっきりとは言えませんが徳之島と同じ種ではないでしょうか。」と話していました。

取材した9月10日は、台風18号でナスの葉が飛ばされ茎なども傷んでしまいましたが、実はしっかりついていました。



▶ナスの苗になったカラーピーマンもどき

表紙の説明

9月19日、中津川の大石神社で秋の大祭が開催され、7団体が踊りを奉納しました。

当日は朝、強い雨が降り境内の条件が悪い中でしたが、中津川小の子どもみこしで幕を開け、バラ踊り(中津川文化財少年団)、虚無僧踊り(別野集落、鷹刺し踊り(弓之尾恵友会、子どもハンヤ節(恵光保育園、六尺棒踊り(北方町清友会、三尺棒踊り(武・白猿集落、兵児踊り(尾原友励会)の順に奉納さ

れました。また途中、13年ぶりに別野庭(俄)狂言「高田の馬場18人斬り」が演じられ、迫真の演技に観客からも多くの拍手がこりました。

金吾様踊り活性化実行委員会委員長今東清光さんは「夜遅くまで練習に励むなど、各団体の協力をもらい、またみんなの気持ち伝えたのか、天気も奇跡的に持ち直しました。今後も、地域が元気になるよう前向きに取り組んでいきたい。」と話されました。(大祭の様子は、来月号で詳しく紹介します。)

何でもホームランバット

永野小二年 新地 竜也君

ぼくは、ソフトボール少年だんに入っています。

ホームランをたくさんうちたいので、こんなバットがほしいです。

形は、バットと同じ形で、みじかくて、ちよつとおもたいです。しましものもようがついていてかっこいいです。どんなボールがきても、ホームランになって、しあいはいつもかれます。あつたらしいな。こんなもの。

どこでもバス

永野小二年 坂元美月さん

わたしがお出かけしたくても、家の人がいそがしくて、どこにもつれていけないことがあるので、こんなバスがほしいです。

形は、かがライオンにいて、体は青虫みたいでしっぽがついているバスです。わたしが、行きたいところを言うと、すぐにつれて行ってくれます。ライオンの形とにているからどうぶつ園の中にも入れます。あつたらしいな。こんなもの。